



北海道における洋上風力関連人材の 育成・確保に向けた取組について



2025年11月
北海道経済部

Hokkaido Government
Department of Economic Affairs

INDEX

1

北海道における洋上風力政策のポイント

2

北海道で洋上風力を進める背景

3

再エネ海域利用法に基づく洋上風力案件形成

4

法定協議会の運営における北海道の役割

5

洋上風力の地域合意形成における北海道の役割

6

洋上風力関連人材の育成・確保に向けた取組

7

洋上風力を北海道の産業・地域振興につなげるために

8

洋上風力に関するネットワークの設置



北海道における洋上風力政策

洋上風力事業の案件形成

事業規模は国内最大!!

【着床式】松前沖、檜山沖、島牧沖、岩宇・南後志地区沖、石狩市沖
【浮体式】島牧沖、岩宇・南後志地区沖



サプライチェーン構築・人材確保支援

- ・ビジネスマッチングイベント参加、道内各地セミナー・マッチング
- ・技術系教育機関を対象とした出前授業、バスツアー、補助制度



【NEW】2025~

風車メーカー誘致・製造拠点化促進

- ・風車メーカー誘致促進に向けたセールス強化
- ・アジア太平洋への供給に向けた製造拠点化



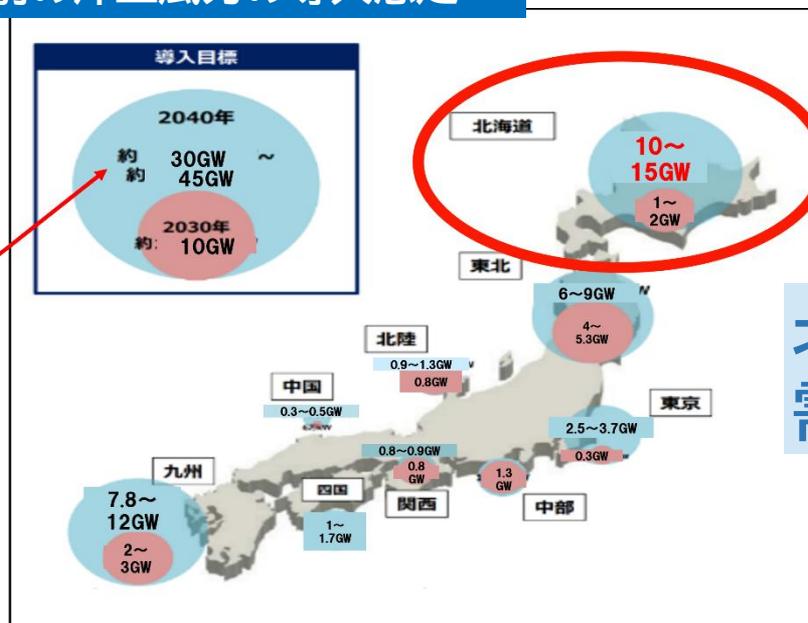
- 日本全体では、**2040年に30GW~45GW**の導入目標。
- そのうち、**北海道では10GW~15GW**と、**国内最大**、日本全体の導入目標の**3分の1**を想定。

北海道の再エネポテンシャルは、全国随一



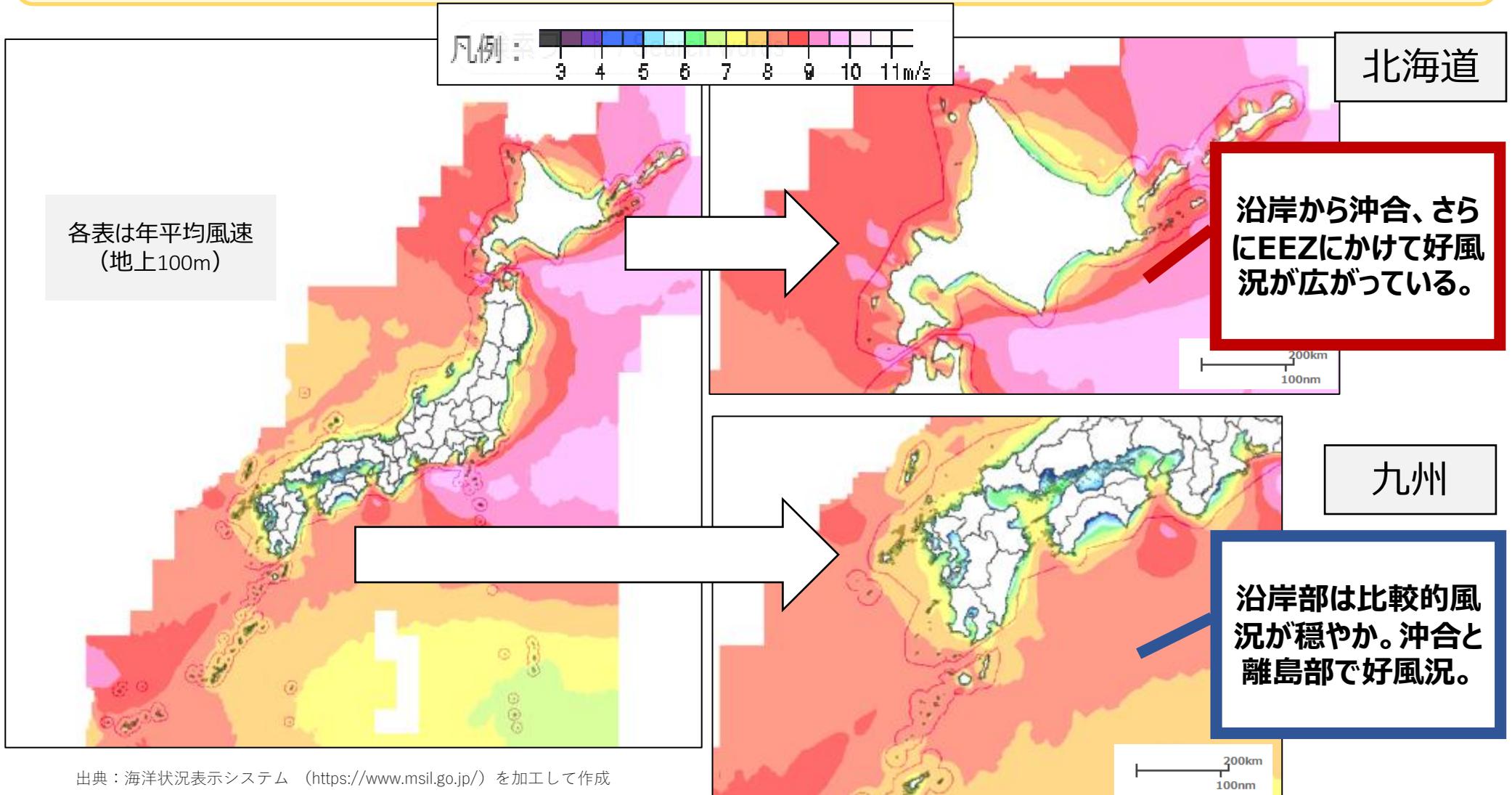
日本国内におけるエリア別の洋上風力の導入想定

このうち **1.5GW** が
浮体式での目標



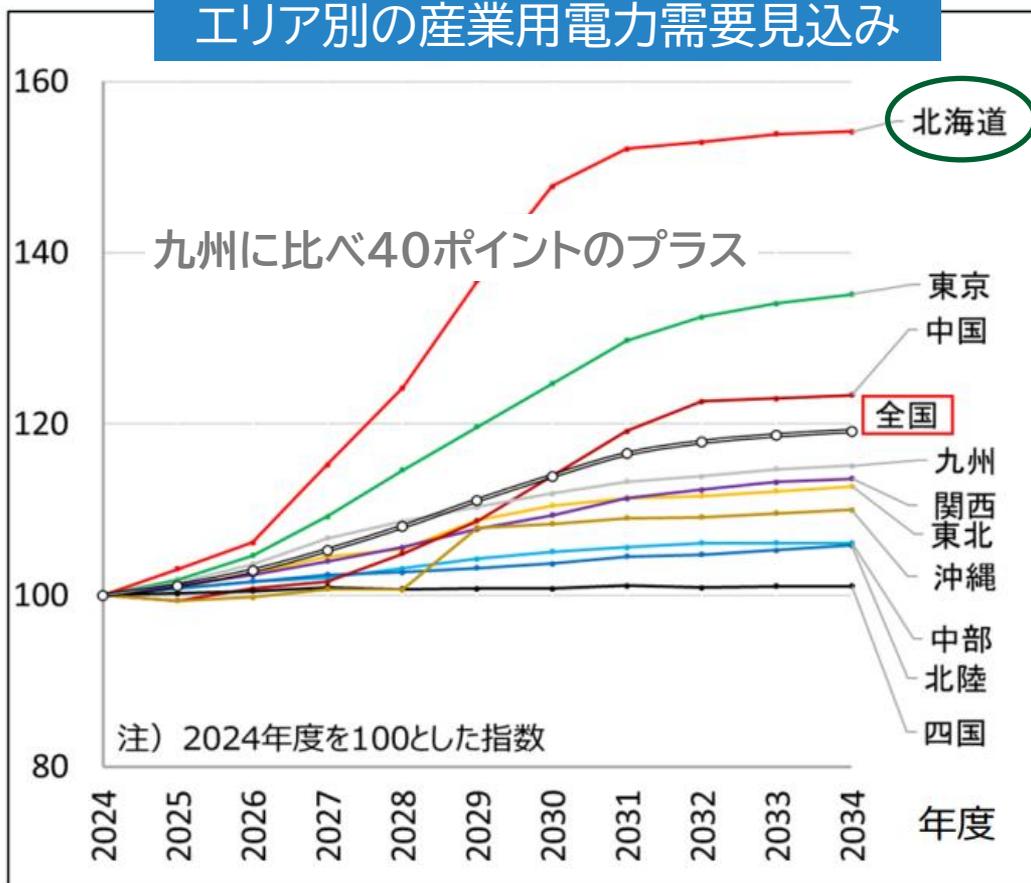
北海道が国内最大の
需要見通し

- 風況についてみると、北海道が着床式・浮体式双方で国内最大のポテンシャル。
- EEZも含め北海道のポテンシャルが高い。 ※地図の赤色からピンク部分が好風況



- 日本国内の産業用電力需要の見込みでは、**北海道エリアの伸びが最大**。
- 再エネを利用する**次世代半導体工場**の新設や、**大型AIデータセンター**の新増設によるものであり、北海道は供給拠点の近くに需要拠点の集積が進んでいるのが特徴。

エリア別の産業用電力需要見込み



北海道庁としては、再エネ電源の近隣に、再エネを利活用するGX産業の集積を戦略的に推進。

次世代半導体工場



半導体工場やデータセンターで、将来GW規模の再エネ需要が見込まれる



AIデータセンター

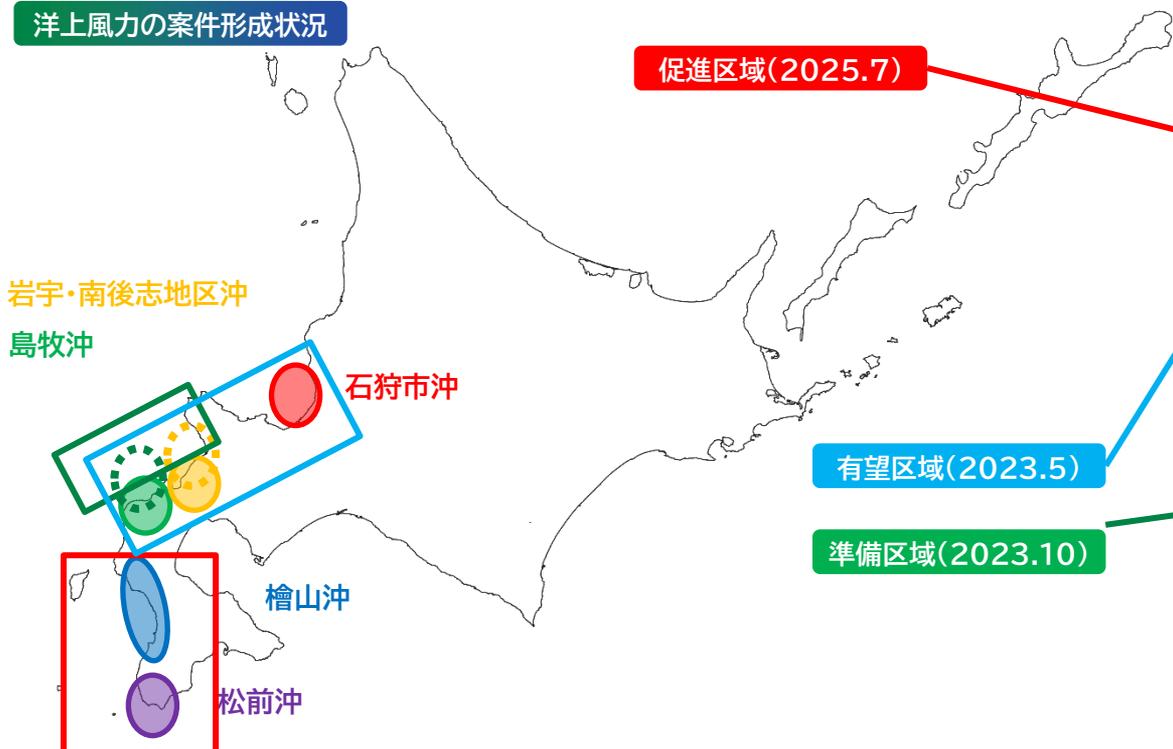
ソフトバンク
さくらインターネット



北海道における洋上風力の事業計画

- 5つの海域で着床式、2つの海域で浮体式の案件形成が進捗。
- 松前沖と檜山沖は、7月に促進区域に指定。
- 北海道は国内最大の事業規模。

洋上風力の案件形成状況



区域	下限値(10MW基数)	上限値(15MW基数)
松前沖	0.25GW(25基)	0.32GW(21基)
檜山沖	0.91GW(91基)	1.14GW(76基)
島牧沖	0.44GW(44基)	0.56GW(37基)
岩宇・南後志地区沖	0.56GW(56基)	0.7GW(47基)
石狩市沖	0.91GW(91基)	1.14GW(76基)

区域	出力規模
島牧沖(浮体式)	未定
岩宇・南後志地区沖(浮体式)	未定

今後、EEZで浮体式の可能性も

ポイント

- 漁業関係者との良好な関係の構築、事業実施検討に向けた丁寧な議論
- 各海域における議論段階に応じた支援(制度説明や先行地域の事例紹介等)

北海道における再エネ海域利用法に基づく協議会の開催状況

区域	松前沖	檜山沖	岩宇・南後志 地区沖 (浮体:準備区域)	島牧沖 (浮体:準備区域)	石狩市沖
有望区域	2023.5	2023.5	2023.5	2023.5	2023.5
第1回	2023.11	2023.12	2024.7		
第2回	2024.3	2024.7	2024.11		
第3回	2024.7	2024.11			
第4回		2025.3			

地元関係者等と協議進行中

= 協議会意見とりまとめ済み

ポイント

- 道は、自治体や関係機関等との調整を担う。
- 利害関係者(自治体・漁協等)の理解促進が重要。地域の皆様を対象とした説明会を開催。
- 漁業が盛んな北海道においては、風車建設による漁業影響を懸念する声も聞かれることから、不安・懸念に対しては専門家から意見をいただくほか、プラス効果の事例を紹介するなど、地域・漁業との共存共栄を前提に協議。

【参考】各道県における水産業の状況について(2023年時点)

自治体名	漁業協同組合数		漁業経営体数		漁業就業者数	
	組合	構成比	経営体	構成比	人	構成比
全国	833	—	65,662	—	121,389	—
北海道	71	8.5%	9,845	14.9%	19,938	16.4%
秋田県	4	0.4%	476	0.7%	630	0.5%
千葉県	23	2.7%	1,347	2.0%	2,672	2.2%
長崎県	62	7.4%	4,804	7.3%	9,208	7.5%

※農林水産省：2023漁業センサス(都道府県別漁業経営体数、都道府県別漁業就業者数)、北海道水産業・漁村のすがた2025、秋田県2023漁業センサス、千葉県内の水産業協同組合の状況、長崎県水産業の概要をもとに道にて作成

地域合意形成における取組

- 道内における洋上風力プロジェクトの着実な推進により、地元企業の参入と関連企業の誘致の両面で、幅広い経済効果が期待できる。
- 地元企業の掘り起こしや参入促進の取組のほか、風車メーカー誘致や関連産業の集積を図り、道内経済の活性化を目指す。
- 将来の洋上風力産業を担う人材育成・確保に向けた取組も重点的に行う。

サプライチェーン構築

- ✓ 風車メーカー製造拠点の誘致促進に向けたセールス強化
- ✓ セミナーやマッチングイベントを通じたサプライチェーンへの地元企業の参入促進
- ✓ 北海道を中心とするアジア太平洋への供給に向けた製造拠点化



人材育成・確保

- ✓ 大学・高等専門学校、高校では、洋上風力関連のカリキュラムを新設し、人材供給を円滑化
- ✓ 専門知識や技能、資格取得のための経費への補助
- ✓ 工業高校、高等専門学校生対象の出前授業や見学ツアーを実施



ファイナンス機能強化

- ✓ 「企業立地支援制度」「GX税制優遇制度」など、企業誘致に向けた支援の充実
- ✓ GX分野の国家戦略に指定、規制緩和を全国に先駆けて提案・実現
- ✓ 再エネ電源の近隣に、再エネを利活用するGX産業の集積を戦略的に推進



洋上風力発電サプライチェーン構築・人材確保支援事業

事業の内容

(1) 道内企業の参入促進

関係団体等と参入に向けた展開方向の共有や、参入機会に関する情報発信、企業展示会への出展、発電事業者等とのマッチングの実施

(2) 人材確保支援

建設やメンテナンスに必要な専門知識や技能、資格を取得するために要する経費への補助

(3) 教育機関向け普及啓発

工業高校、高等専門学校等の電気関連学科で、就職先としての洋上風力発電事業に関する出前授業や見学ツアーの実施

事業イメージ

(1) サプライチェーン構築支援

情報発信とマッチングの実施

関係団体等と道内企業の参入に向けた今後の展望方針の共有、参入機会に関する情報発信、洋上発電事業者と道内企業とのマッチングを実施します。



(2) 洋上風力関連人材育成

洋上風力発電関連産業人材確保支援事業補助金

洋上風力発電所の建設やメンテナンスに必要な専門知識や技能、資格を取得するために必要な経費を補助します。



経費補助

上限：50万円を補助
補助率：1/2

(3) 教育委機関向け普及啓発

技術系教育機関における進路啓発

水産高校、工業高校、高等専門学校等を対象に、就職先としての洋上風力に関する建設工事・メンテナンス等を紹介する出前授業や企業見学バスツアーを開催します。

建設フェーズで
求められる
業態について

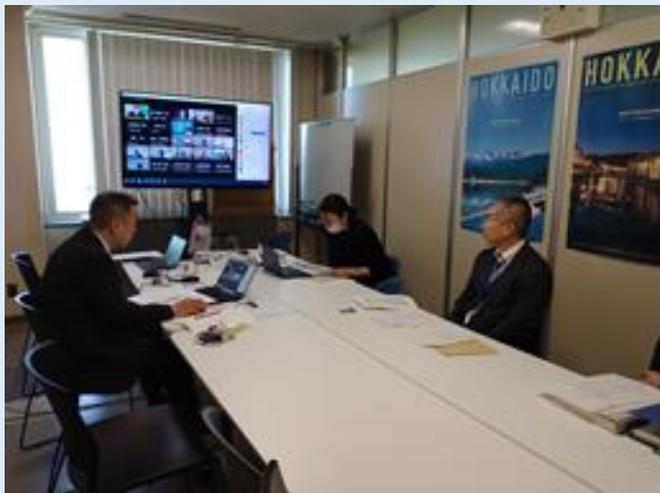
フォーラム

北海道教育委員会と連携しながら、令和5年度より取組開始

令和5年度

教員向け洋上風力発電に係る理解促進セミナー

- オンライン開催：2月5日（月） 14:00～15:30
- 参加者
 - ・工業及び水産に関する学科を設置する公立高等学校の管理職又は進路指導を担当する教諭等
 - ・上記以外で参加を希望する公立高等学校等の管理職又は教諭等
 - ・各教育局のキャリアプランニングスーパーバイザー
- 内容
 - ・道：北海道における洋上風力を巡る状況と取組等について
 - ・GPI：洋上風力発電の概略と仕事について
 - ・秋田県立男鹿海洋高等学校：
 - 洋上風力発電に関する本校の取組



出前授業

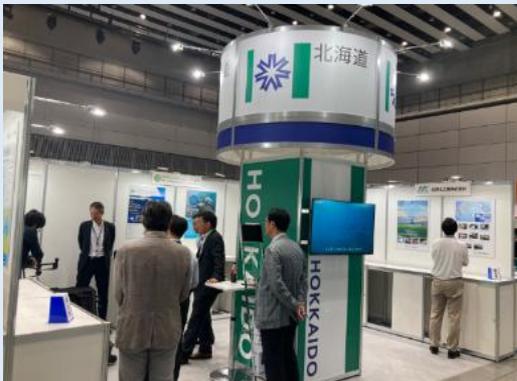
- 苫小牧工業高等専門学校：1月18日（木）
13:00～14:30
- 参加者
 - 電気電子系 4年生
- 講演内容
 - ・GPI：洋上風力発電の概略と仕事について（※苫小牧高専OBの社員が講演）
 - ・北拓：風車のメンテナンスの仕事について



令和6年度

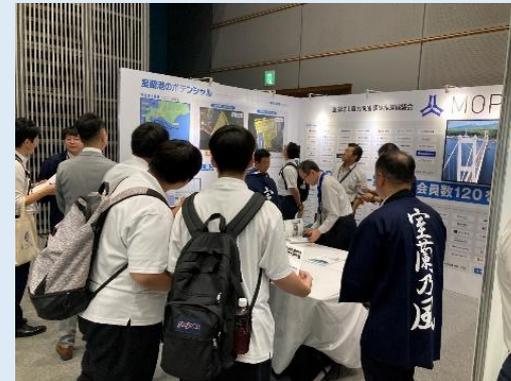
セミナー・マッチング

- 9月4日（水）GOWS-J 2024 参加
 - ※Global Offshore Wind Summit-Japan 2024
（世界洋上風力サミット@札幌コンベンションセンター）
- ・ パネル展示：道のGX活動及び道内関連企業紹介
- ・ マッチング開催：発電事業者等と道内企業



バスツアー

- 以下の日程で開催
 - ・ 9月4日（水） 室蘭工業高等学校
 - ・ 10月30日（水） 滝川工業高等学校
 - ・ 2月26日（水） 札幌工業高等学校



石狩湾新港洋上風力発電所の見学（説明者：GPI）

令和6年度

道内各地セミナー・マッチング

- 以下日程で開催 ※マッチングは札幌会場のみ
 - ・函館：11月18日（月）14:00～16:00
於 函館商工会議所
 - ・旭川：11月22日（金）14:00～16:00
於 旭川市民文化会館
 - ・釧路：11月28日（木）14:00～16:00
於 釧路生涯学習センター
 - ・札幌：12月20日（金）14:00～16:00
於 かでる2・7



出前授業

- 以下日程で開催
 - ・北見工業高等学校：11月19日（火）
13:15～14:05
 - ・札幌工業高等学校：12月5日（木）
13:30～14:30（全日制）
18:00～19:00（定時制）
- 講演内容
 - ・洋上風力発電の概要
 - ・風力発電業界の仕事内容
 - ・今後の洋上風力発電業界の展望など



北見工業高校での出前授業（説明者：北海電工）

令和7年度

道内各地セミナー・マッチング

- 以下日程で開催 ※マッチングは函館、札幌会場のみ
- ・江差：9月4日（木）13:00～15:00
於 江差町文化会館
- ・函館（洋上風力ビジネスフォーラム）
：10月25日（土）13:00～16:30
於 函館アリーナ
- ・札幌：11月27日（木）13:00～16:30
於 かでの2.7



バスツアー

- 以下日程で開催
- ・小樽未来創造高等学校：11月12日（水）
10:00～15:00
- ・苫小牧工業高等学校：11月17日（月）
10:00～15:00

洋上風力ビジネスフォーラム in 函館

<イベントのねらい>

2025年7月に再エネ海域利用法に基づく「促進区域」に指定された松前沖・檜山沖での洋上風力発電の展開を見据えて、渡島・檜山管内の企業を中心に、道内企業が洋上風力産業に必要な資格・設備等の情報を把握し、具体的な参入イメージを持てるよう、講演及びワークショップを開催します。

日程・場所 日時：令和7年（2025年）10月25日（土）13:00～16:30
場所：函館市湯川町1-32-2 函館アリーナ（メインアリーナ）
参加費：無料 *12:00～受付開始予定

▶ プログラム

開会挨拶	【13:00～13:10】
第1部	
基調講演：洋上風力の最新動向と参入・育成に向けた支援について	
経済産業省資源エネルギー庁 長官 村瀬 佳史 （講演内容）・国の洋上風力政策の最新動向（今後の入札動向を含む） ・サプライチェーン構築及び関連産業育成への支援	【13:10～13:35】
技術講演1：景観と調和し地域と共存共栄するGXに向けて ～港湾の活用にかかる現状と展望～	
国土交通省北海道開発局 局長 遠藤 達哉 （講演内容）・洋上風力における港湾の機能と役割 ・道南地域の強みと今後の可能性	【13:35～14:00】
技術講演2：洋上風力の人材育成と地域連携について	
洋上風力人材育成推進協議会（ECOWIND） 副会長 青山 伸昭 （講演内容）・ECOWIND（洋上風力人材育成推進協議会）の活動について ・風力発電と地域連携について	【14:00～14:20】
情報提供：HOKKAIDO洋上風力産業推進ネットワークの設立について	
北海道 副知事 三橋 剛	【14:20～14:30】
～休憩（30分間）～	
第2部 詳細は裏面をご覧ください	
開催自治体挨拶	【15:00～15:05】
ワークショップ：自社の強みと参入可能性を探る	
○4つの分野に分かれ、事業者公募で想定される元請企業と地元企業等によるワークショップ	【15:05～16:30】
①組立・設置（電気・陸上工事）～ゼネコン等と関心のある地元企業 ②運用・メンテナンス～風車メーカー他と関心のある地元企業 ③港湾工事及び関連事業（船舶運用も含む）～ゼネコン等及び船舶会社と関心のある地元企業 ④人材育成～業界団体等と関心のある自治体、教育機関等	
主催	北海道、函館市、函館渡島檜山ゼロカーボン北海道推進協議会
共催	函館商工会議所

北海道教育委員会作成「おしごとガイドブック～2024年度版～」
洋上風力発電の技術者を掲載、全道の中高1、2年生に配布



先端技術と
その効果



地中の作業では、電動で電線を通してくれるインバータウインチという最新機器を活用しています。あらかじめ設定した張力をオーバーするとブザーが鳴って自動停止するなど、安全な作業にとても役立っています。

今の仕事に就職するまで

中学校の先生から、「工業高校では、多くの国家資格などを取得でき、就職の選択肢も広がる」と勧められました。電気エネルギーは私たちの生活に欠かせないものですし、風車や発電所を建設することは、社会を支えているといったやりがいがあると思いました。



大きな達成感を得られる

風車の工事に携わることが多く、完成した風車を見ると大きな達成感があります。洋上風力発電の施設は、電線を地中に通す地中線路を使用しており、電柱や電線が見えなくなるなど、景観がよくなるほか、風や地震などの災害にも強いのが魅力です。





株式会社北海電工
石田 葵利さん
札幌工業高校
電気科卒業



北海道教育委員会主催「専門高校の力が発揮できる 洋上風力発電理解促進セミナー」 計35名参加（学校関係者21名、関連企業等関係者4名、教育委員会関係者等10名）

専門高校の力が
発揮できる

課題と現実
を理解する

洋上風力発電 理解促進セミナー

これからの
北海道の洋上風力発電に係る人材育成は
どのようになっていくのか

講演1
「洋上風力発電
を取り巻く現状と
人材育成」

講演2
「洋上風力発電の
推進と漁業協調：
発電事業と漁業が
共存するために」

質疑応答

日本海洋事業株式会社
運航事業管理運航事業部長委員
常務取締役
横田 哲也 氏

長崎大学
海洋未来イノベーション機構
環東シナ海環境資源研究
センター長 河邊 玲 教授

オンライン (Zoom)
日時：令和7年2月25日 (火)
14:00～15:35 (接続確認13:30～)
ID:854 0686 3426 パスコード：809170
お申込みは右の二次元バーコードから
(URL: <https://forms.gle/663wYbeRioUqxbKr6>)

北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト 「洋上風力発電理解促進セミナー」 セミナーレポート

令和7年2月25日 (火) 開催

高校教員等が洋上風力発電に関する理解を深め、本道産業構造の変化に対応した指導の充実に
図るとともに、高校と産業界が一体となった洋上風力発電に関する人材育成の取組を推進するた
め、オンラインセミナーを開催しました。
道内はもとより、全国から学校関係者21名、関連企業等関係者4名、教育委員会関係者等10名
の合わせて35名に参加いただきました。ここでは、本セミナーの実施状況を紹介しますので、進
路指導等の参考にしてください。

セミナーの内容

- ◆講演① (14:05～14:35)
 - ・演 題：「洋上風力発電を取り巻く現状と人材育成」
 - ・講 師：日本海洋事業株式会社運航事業管理運航事業部長委員常務取締役 横田 哲也 氏
- ◆講演② (14:35～15:15)
 - ・内 容：「洋上風力発電の推進と漁業協調：発電事業と漁業が共存するために」
 - ・説明者：長崎大学海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター教授 河邊 玲 氏
- ◆質疑応答 (15:15～15:35)



講演①資料 (日本海洋事業 横田氏)



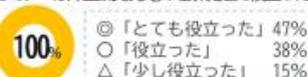
講演②資料 (長崎大学教授 河邊氏)

セミナー参加者の声

- ▶ 洋上風力発電に必要な船舶や、再エネ海域利用法と漁業のあり方について理解を深めることができた。
- ▶ 必要となる人材の求人者数は、雇用の新たな形として、本県でも参考にしたいと考えている。
- ▶ 水産業との共存の話では、学術的な視点も踏まえ、今後、検証する必要があると強く感じた。
- ▶ 洋上風力事業の経緯や現状を丁寧に説明されていて、必要な人材やスキルのもつめも含めて有益な情報だと感じた。
- ▶ 漁業協調については、これまでのデータ検証に基づく考察や、今後、北海道でも同様に調査を漁業関係者と共に進めていく重要性が認識できて、非常に勉強になった。
- ▶ 洋上風力発電の現場や、これに伴い必要になる職種及び今後どのような人材が求められるのか知ることができた。

【アンケート結果(一部)】※回答数21

①セミナーが洋上風力発電の理解促進に役立ったか。



②セミナーの成果を今後、どのように生かしていくか。(複数回答可)

キャリア教育：9	進路指導：8
教科指導：11	企業との連携：7

北海道教育委員会主催「探求的な学びにも活用できる 洋上風力発電理解促進セミナー」 計43名参加（学校関係者31名、関連企業等関係者4名、教育委員会関係者等8名）

～探求的な学びにも活用できる～

洋上風力発電 理解促進セミナー

本道産業構造の変化に対応した指導の充実を図るために、高等学校教員等が、洋上風力発電に関する理解を深めるセミナーを開催します。



令和7年
(2025年)

講演 (14:00～14:40)

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター長・教授
宮下 和士 氏

「洋上風力発電と地域創生」

10/3

発表 (14:40～14:55)

北海道松前高等学校教諭（進路指導主事）
村上 賢吾 氏

「探究活動を通じた洋上風力発電の理解の促進と進路指導」

金

Zoomによる
オンライン



説明 (15:05～15:35)

DENZA株式会社取締役専務執行役員
吉田 昌弘 氏

「洋上風力従事者の業務内容と地元での雇用について」

参加対象

- ◆公立高校等において
 - ・進路指導や総合的な探究の時間を等を担当する教諭等
 - ・理科、工業科及び水産科の教科指導を担当する教諭等
- ◆各教育局のキャリアプランニングスーパーバイザー

【主催】教育庁学校教育局高校教育課
(お問合せ先：011-205-5705)

【共催】経済部GX推進局GX推進課



申込締切 9/26 金

申込みはこちらから



<https://forms.gle/JKHNDYI193S7Q8G9>

北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト 「洋上風力発電理解促進セミナー」 セミナーレポート



令和7年10月3日（金）開催

進路指導や総合的な探究の時間を担当する高校の教員等が、洋上風力発電に関する理解を深めるとともに、今後の本道産業構造の変化に対応した指導の充実が図られるよう、道経済部と連携し、オンラインセミナーを開催しました。

全道・全国から高校教員、教育委員会関係者合わせて約40名に参加いただきました。ここでは、本セミナーの実施状況を紹介いたしますので参考にしてください。

セミナーの内容

◆講演

- ・演 題：「洋上風力発電と地域創生」
- ・講 師：北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター長・教授 宮下 和士 様

◆発表

- ・内 容：「探究活動を通じた洋上風力発電の理解の促進と進路指導」
- ・発表者：北海道松前高等学校 村上 謙吾 教諭

◆説明

- ・内 容：「洋上風力従事者の業務内容と地元での雇用について」
- ・発表者：DENZAI株式会社 取締役専務執行役員 吉田 昌弘 様

<p>北海道における人材育成の必要性</p> 	<p>まとめと今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の探究活動の方針 <ul style="list-style-type: none"> → 地域産業理解と進路指導の融合 ・洋上風力発電：松前町の今後の基盤産業 <ul style="list-style-type: none"> → 「地域理解教育」から「地域へ定着する人材育成へ」 	<p>風力発電は「益が大きい」</p>  <p>なぜ風力発電は益が大きいとされるのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風力発電は環境負荷が低く、CO2排出量がゼロである。 ・ 国土の広大さから、風力発電のポテンシャルが非常に大きい。 ・ 風力発電は、地域産業として定着し、雇用を生み出す。
--	---	--

講演資料（北海道大学）

発表資料（松前高校）

説明資料（DENZAI）

参加者の声

【アンケート結果（一部）】※回答数13

- ▶ 今後どのような仕事が必要とされ拡大していくのかという点について非常に勉強になった。（専門高校教員）
- ▶ 洋上風力発電に関する基礎的な知識だけでなく、今後の地域産業などの知見について幅広く知ることができた。（普通科高校教員）
- ▶ 松前高校の発表は、生徒が風力発電を自分事として探究活動に結び付ける過程が紹介され、参考になった。（専門高校教員）
- ▶ 洋上風力発電が本格的にスタートしていない中、実際の進路指導をイメージすることは難しいため、今後は、働く上での明確なメリットが伝わるような話があるとよい。（普通科高校教員）
- ▶ 探究活動を通じて、生徒の進路意識の向上が図られ、将来に生かされる取組になっていると感じた。（その他の教育関係者）

国立高等専門学校機構「COMPASS5.0 再生可能エネルギー（風力）分野」
函館・八戸・秋田3高専の連携プロジェクトに、道風力担当課長が外部評価委員として参画

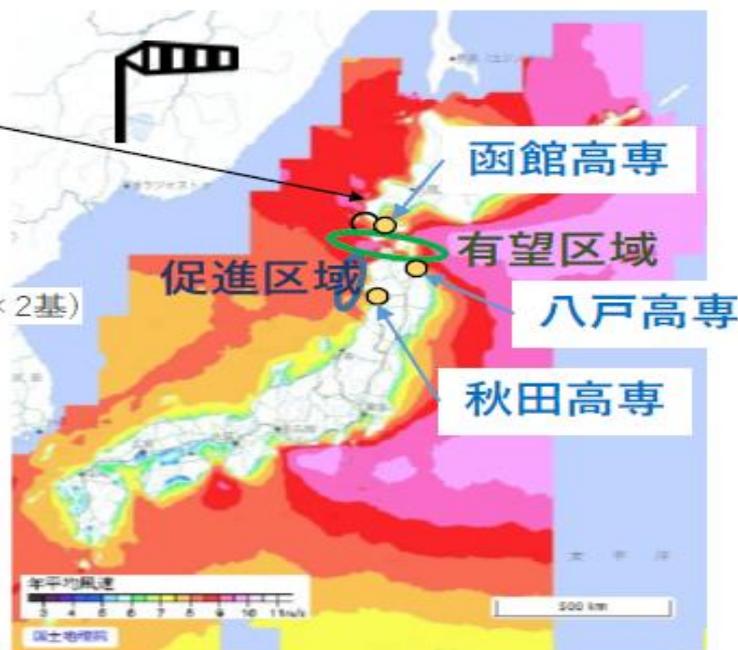


地理条件から見た3拠点校連携の意義

洋上風力が既に運用されている秋田県沖付近に秋田高専が、今後立地が見込まれる青森県沖日本海・北海道道南沖付近に八戸高専・函館高専が位置



瀬棚町洋上風力発電事業
「風海鳥」
稼働中の風力発電(600kW×2基)



NEDO NeoWinsによる洋上風況マップ

風力発電のステージを活かした教育プロセス

3拠点校の地理条件の相違を活かし、一貫した教育プログラム編成が可能



洋上風力を北海道の産業・地域振興につなげるために

To Connect Offshore Wind Power to the Industrial and Regional Development of Hokkaido

【国】

- **制度設計・規制整備**
- 基地港湾の指定・整備
- 安定した公募・選定手続き
- 再エネ導入計画・目標策定

【北海道】

- 関係者との調整、合意形成
- **サプライチェーン構築**
- **人材育成・確保**
- 企業参入・投資促進
- 風車メーカーの誘致促進

洋上風力発電事業の推進

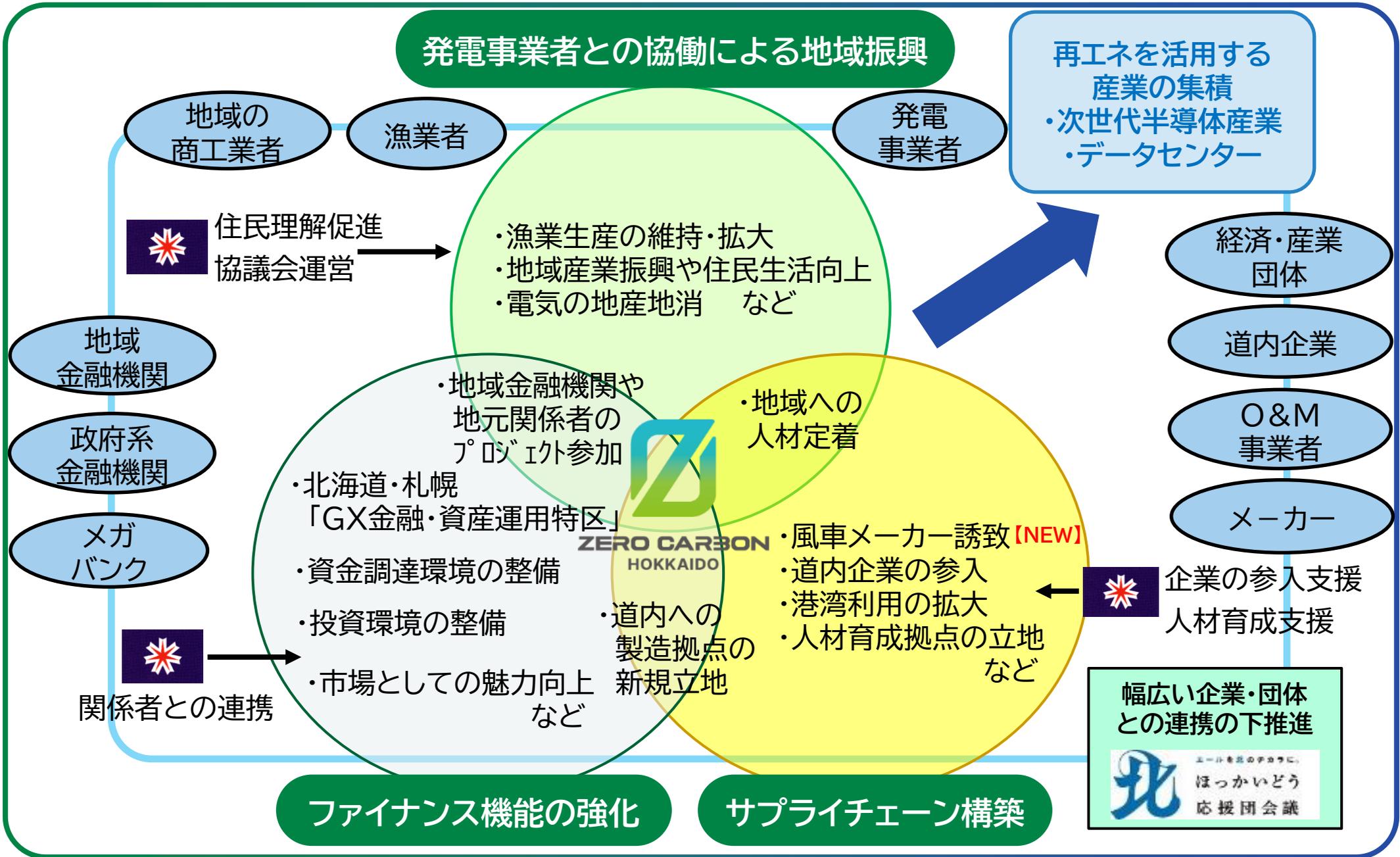
【民間事業者】

- 事業計画立案・資金調達
- 建設・運営マネジメント
- 電力供給(販売)
- 官民連携による**地域創生**

【市町村】

- **主体的な取組推進**
- 地域住民等への理解促進
- 地域振興策の検討・実施
- 地域産業との連携

環境と経済が好循環する「ゼロカーボン北海道」の推進



- 道内企業のサプライチェーン参入を促進するため、産学官からなる連携体「**HOKKAIDO洋上風力産業推進ネットワーク**」を設置。道内企業などは会員として参画可能。
- **本ネットワークでは、国や支援機関の取組などの情報提供や道内事業者のマッチングの促進など、道などが実施する各種支援策との連携促進を図ることで、サプライチェーン構築を目指す。**

- **入会は無料です。**
- **メールマガジンなどで国や支援機関等の実施取組に関する情報が入手できます。**

事業内容

- 行政や支援機関等が実施する取組や事業環境の向上に向けた**情報提供・情報共有**。
- 道内事業者の**参入意欲の喚起、マッチングの促進**など、行政や支援機関等が実施する各種支援策及び**GX産業の集積**に向けた**立地促進施策**との連携促進。

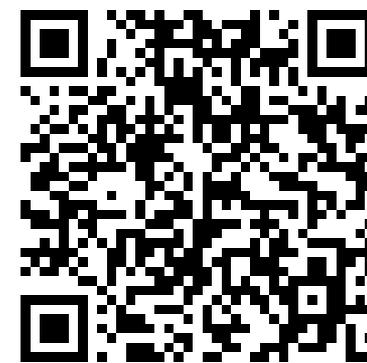
会員

- 洋上風力関連産業への参入意欲のある**道内企業・団体等**
 - 洋上風力関連産業の集積促進にご協力いただける**行政、金融、団体等の支援機関等**
- ※ 会員として参加しても**再エネ海域利用法に基づく法定協議会や入札評価に関係しません**

HOKKAIDO洋上風力産業推進ネットワーク

会員募集中**申込方法****①北海道電子申請サービス**による申込

→右記の二次元コードよりお申し込みください。

**②Eメール**による申込

→道GX推進課ホームページ（下記URL）より入会申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、次のメールアドレスへご送付ください。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/gxs/238408.html>

<メール送付先>

北海道経済部GX推進局GX推進課風力係

gx.suishin@pref.hokkaido.lg.jp

ご静聴ありがとうございました。



ZERO CARBON
HOKKAIDO